



全旅連・女性経営者の会
Vol.85
リレーコラム

車の町、豊田市で豊田プレスステージホテルを経営しております稲熊真佐子と申します。長野県の今野純子さんからバトンを受け取りました。愛知県豊田市を紹介いたします。



稲熊 真佐子さん
愛知県豊田市
豊田プレスステージホテル

エコ進む車の町へ「おいでん」

豊田は1951年開始の中心地は城下町で、成しています。同年の万博、愛・地球博では近隣開催で、多くのお客様が訪れました。かつては挙母（こも）も市と呼ばれており、市政は1951年開始

る中心地は城下町で、現在でも挙母地区と呼ばれています。10月第3土・日曜日には挙母神社へ奉納する山車の祭礼、挙母祭りが開催されます。車の町の車のお祭りです。台数は

という事で、盆踊りから変化した市民のお祭り、豊田おいでん祭りができ、7月最終土・日曜日に開催されています。おいでんとは三河弁でいらっしゃい、という意味です。

た。市内にエコフルタウンという環境学習施設もあり、電気自動車体験や低炭素社会実現に向けた展示があります。水素ステーションも設置してあります。北部の中山間地域では農業も盛んで、ブルーベリー、自然薯、お茶などを栽培しています。ハイブリッドは車のみならず第一、二、三次産業が融合するパランスのとれたまちです。現在豊田市では観光協会を民間主導へと準備中で、来年度から開設予定です。

うに日本の基幹産業である自動車製造が盛んな人口42万人の中核市です。平成17年の7市町村合併により、面積は県下最大となり、岐

と市としては古くはありませんが、59年に豊田市に市名変更されました。自動車参入前は、養蚕業が盛んで、近代的な産業の台頭とともに衰退し、モーターゼーションの波とともに自動車産業が発展しました。

8台で、岸和田市のだんじりほど荒っぽく、高山祭のように上品でもなく、という祭礼です。大手自動車会社の参入で、人口が増加し、元々の市民は3割程度と言われています。そのような環境下で挙母祭りに参加できない

豊田は国より環境モテル都市に認定されており、低炭素社会を目指しております。トヨタ自動車も世界で初めて燃料電池車MIRAIを発売、第一号車を豊田市が購入しまし

ます。次は、富山県の東祐子さんへバトンを渡します。

ホテルが立地してい

祭りに参加できない

を豊田市が購入しまし

ます。